

め、メディカルウイングの重要性が増していくと考えられる。

救急医療研修会の講師（神奈川県理事・藤沢市民病院副院長 阿南英明先生）からコメント

全体会議は午前中に講演したリスクマネジメント（健康危機管理）と軸が同じであると実感した。高齢社会の中でACPの対応をする一方、働き方改革が入ってくる。上手に働くと同時に仕事のスリム化を図らなければならず、賢く立ち回る方法を考えな

いとイケない。その回答のキーワードとしては「広域化」がある。Webを活用し、物理的な距離を超えるテクノロジーを取り入れるなど、そこに先ほどの課題を乗り越えていく一つのキーがあるのではないかと考えている。



救急医療トピックスで取り上げた4つのテーマは、喫緊の重要課題である。当会の役員をはじめ関係機関と連携・協力を図りながら対応していく所存であるので、ご支援のほどよろしくお願ひしたい。



北海道内科医会ならびに 日本臨床内科医会入会のご案内

北海道内科医会は、1989年11月の設立以来、地域医療の推進をはじめ会員の専門知識の研修、保険医療の改善・向上など各種事業に取り組んでまいりました。また、当医会と協力関係を持つ日本臨床内科医会は、臨床内科学の発展を図り、医療の向上を目的に1985年に創設された第一線内科医の団体です。自己研鑽のための生涯研修の推進、「かかりつけ医のためのWEB講座」の開催、高血圧・糖尿病・インフルエンザなどの疾患の研究、市民への公開講座を行うなど、臨床内科学へ大きく貢献しております。また、日本臨床内科医会の専門医は取得しやすく、専門医になると1日研修を経て総合診療専門医の指導医として認められます。

今後とも日本臨床内科医会と連携し、厳しい医療環境に立ち向かい、地域住民に質の高い医療の提供体制構築に向け努力をしております。つきましては、北海道医師会会員で内科を標榜されている先生、内科に興味をお持ちの先生におかれましては、当医会ならびに日本臨床内科医会の趣旨にご理解を賜り、ぜひともご加入くださいますようご案内申し上げます。

北海道内科医会 会長 西里 卓次

入会申込み・お問い合わせ先 北海道内科医会事務局

〒060-0042 札幌市中央区大通西6丁目 北海道医師会事業第一課内

TEL 011-231-7661 FAX 011-241-3090

E-mail naika-ikai@m.doui.jp

ホームページ <https://hokkaido.japha.jp/>



新型コロナウイルス感染症関連情報

新型コロナウイルス感染症に関する日本医師会からの通知等は、北海道医師会ホームページ「医師の皆様へー感染症情報」に掲載しています。

URL : <http://www.hokkaido.med.or.jp/doctor/infection.html>